



Do not try too hard 頑張すぎない!!

「英語とやさしい日本語で「離乳食について話そう」」 開催したよ♪



子育て中のママたちからよく相談される「離乳食」のこと。「どんなものを食べさせて?」「味付けはどうしてる?」「作り方がわからない…」などなど、みなさんいろいろお悩みがありますよね。そんなときにひろばスタッフが「FOOD&BABY 世界の赤ちゃんとおももの〜世界の離乳食から見える ひと・社会・文化」(三恵社発行)という本を見つけました。(この本はPopolaでも貸し出しをしています♪)

「離乳食のこと、外国の人はどうしているんだろう…。ぜひ直接話を聞いてみたい!」とスタッフの好奇心から、SCCさんの協力を得て、ワークショップを開催することになりました。

「ママたちからはこんな話が聞かれました」



日本のママ
・離乳食の段階から、いろいろな食材を子どもに食べさせています。
・味付けは粉末のだしを使うだけ。調味料は使いません。
・子どもの食べる量が少なく心配です。

フィリピンのママ
・日本のフルーツや野菜はおいしいので、そのままスープにしたりペースト状にして使っています。

マレーシアのママ
・家政婦さんが作ってくれたり、両親が手伝ってくれることもあったので、離乳食にあまり関心を払っていませんでした。日本は離乳食の種類が多いですね。



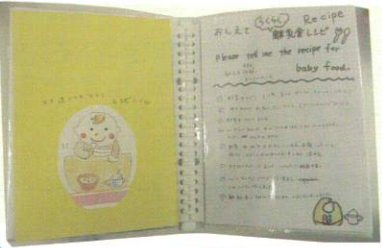
国を超えて子育てに関する共通のことを話し、励まし合う場面もありました。「子どもは食べてくれたり食べなかったりがあるけれど、ちゃんと大きくなるから大丈夫!頑張りすぎないで楽しみましょう!」と会を締めくくりました。今後もおしゃべり会で異国文化を知り、いろいろな子育ての考え方に触れる機会が作れたら面白いですね。

ひろばには、遊びに来てくれたママたちが書いてくれた離乳食レシピ集があります。是非手に取ってみてください。



I had so much fun and comfortable being with them. I have learned a lot especially for my toddler's food.

時間が経つのが早く感じました。東南アジアの子育てについてお話しが聞けて楽しかったです。



ママたちからの
□コミレシピ
「かんたん
離乳食レシピ」



少しの時間でいろいろな方と交流できて楽しかったです。またこういう機会があったら参加したいです。

文：神田



Sharing Caring Culture
Non-Profit Organization
協力:NPO法人Sharing Caring Culture

都筑区子育て支援センター

Popola

横浜市都筑区中川中央1-1-3
ショッピングタウンあいたい5F
TEL:045-912-5135 (代表)
045-912-5157 (子育てサポートシステム専用 9:00-17:00)
045-479-5920 (横浜子育てパートナー専用10:00-16:00)
FAX:045-912-5160

Popolaサテライト

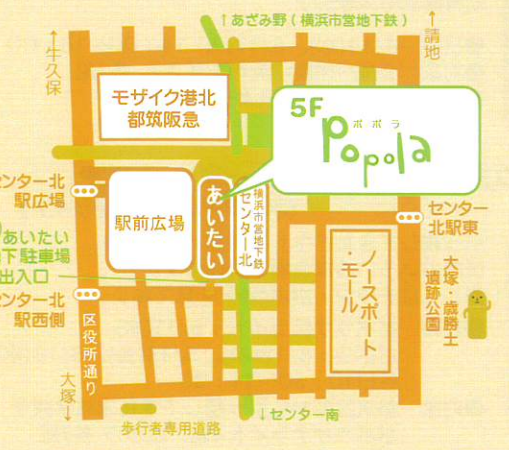
横浜市都筑区池辺町4035-1
三井ショッピングパーク ららぽーと横浜3F
TEL:045-507-6856 (代表)
045-507-5772 (横浜子育てパートナー専用 10:00-16:00)
FAX:045-507-6857

■OPEN
10:00-17:00
(ひろばは16:00まで)
■CLOSE
日・月・祝日・年末年始
※サテライトはららぽーと休館日はお休みです

<https://popola.org/>



運営:NPO法人こども応援ネットワーク



都筑区子育て支援センター-Popola

2022. 3 | 4

Popola Paper NO. 92



区内の子育て情報を つぶやいてるよ♪ @popola_org HPからも入れるよ! <https://popola.org/>

みんなで作る みんなの居場所

チャコ村に行って来たゾウ〜♪



畑(奥)と広場(手前)畑では綿や小麦も栽培

年明け間もない雪の舞う寒い日に、東山田町の「チャコ村」におじゃまし、運営されている菊島景子さんにお話を伺ってきました。もともとこの場所は、菊島さんの祖母「チャコおばあちゃん」が、畑仕事の合間に近所の方や通りがかりの人に声をかけ、一緒にお茶を飲んだりおしゃべりしたりする、とても大切な居場所だったそうです。

ところが、チャコおばあちゃんが体調を崩し、この居場所は閉鎖されることに…。このことが、改めて地域のみなさんがこの場所を大切にしてくれていたことを気づかせてくれることになったそうです。そして2017年12月、同じ場所に「チャコ村」として復活。再開してもなく、チャコおばあちゃんは亡くなられてしまいましたが、地域の方がいつでも集まれる居場所として現在も「チャコ村」は続いています。



お話を聞いた 菊島景子さん

「チャコ村」には子どもからお年寄り、誰でも立ち寄れる畑・広場・小屋があります。
チャコ畑:「無理はせず、できることをできるひとでやっています。いろんなひとが助けてくれてありがたい」そんな菊島さんの言葉通り、畑で試行錯誤している姿を見て通りがかった近所の方が手伝ってくれたり、道具を貸してくれたり、まさにみんなでつくる「チャコ畑」です。
チャコ広場:畑と小屋の間にある芝生の「チャコ広場」では、近所の4人きょうだいの親子が自由に遊んでいたり、青空会場として地域の方が集まり楽しい時間を過ごす場となっているそうです。
チャコ小屋:畑の横に立つ小屋。私たちがお茶を飲みながらお話ししている間にも、引き戸を開けてちょこっと挨拶をしていく近所さん、「家よりも落ち着くー」と勉強しにくる中学生、ランチで提供する野菜を買いに来るシェフなどなど…。何人もの地域の方が立ち寄ります。お話しの中で運ばれてきた大きな樽には、チャコ畑で収穫した大根がたくあん漬けに!!「初めて味見するから食べてみてー」とふるまわれたたくあんは、とってもやさしい味がしました。



小屋の前で野菜を買い取る時



小屋の中… テーブルを囲んでお茶とおしゃべり



誰でもふらっと来たいときに来て、自分の時間を過ごす場所。来るとなんか笑顔になってみんな「チャコ村」が大好きでみんな「チャコ村」が大切にその想いが居心地の良さをつくってみんなの居場所になっていく。

誰かと話したいとき
誰かとお茶をしたいとき
頭をからっぽにしてほっと気分転換したいとき
こんな場所が近くにあったら、自然と足が向いてしまうのでは…と思いました。自分の住んでいる「まち」や「ひと」を好きになってつながられることは、日々の暮らしを豊かにしてくれる幸せなことだなあと感じました。ぜひ機会があったら、みなさんもふらっと立ち寄ってみてくださいね。

文：三上

チャコ村

都筑区東山田町1681
(中原街道「徳持」バス停より徒歩1分)
火・木・土 9:00~14:00



「チャコ村」Instagram
チャコ村の日々の様子が
みられます☆

